

【相馬看護専門学校 情報公開文書】

項目		説明
情報の利用 目的及び利 用方法	研究課題名	相馬地域における看護師養成機関に与えた原発事故の影響調査
	研究目的	災害によって看護学生は影響を受けることが国際的に報告されています。しかしそれは、大地震後やパンデミックであり、原発事故については報告がありません。看護職員へ行われた調査では、原発事故に精神的な影響を受けると報告されています。さらに、放射線に関する知識が豊富な人は精神的健康が良好な傾向であることがわかりました。日本の看護学生は放射線に関する知識が乏しいと報告があり、原発事故によって精神的健康が損なわれ、学業の継続に何らかの困難を抱えていたことが考えられます。相馬看護専門学校は福島第一原子力発電所事故周辺地域で唯一の看護師の養成校で、運営は相馬地方広域市町村圏組合です。震災前から、地域の看護師の主要供給源として、震災の影響や卒業生の動向を含む本調査は、この地域の養成校の役割を評価する重要な意義があります。本研究は、東日本大震災及び原発事故が被災地域の看護教育に与えた影響を調査します。
	研究対象者	2001年4月から2017年4月に入学した者
	研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2025年3月31日まで
利用する試料・情報		匿名化後の以下の情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>・性別</li> <li>・入学時の年齢</li> <li>・入学年と卒業年</li> <li>・休学・留年・転学・退学の有無とその時期と期間</li> <li>・現役国家試験合格の有無</li> <li>・現役国家試験合格でない人の合格した年</li> <li>・出身地（福島県と宮城県は市町村単位、それ以外の県は県単位とする。ただし、南相馬市小高区と南相馬市それ以外で分ける）</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の就職先の種別（病院、診療所、介護施設等）</li> <li>・就職先の所在地（市町村単位）</li> <li>・就職先または就職先所在地の奨学金受給の有無</li> </ul>
情報の管理 についての 責任者	当専門学校研 究責任者	愛澤めぐみ副校長
情報を利用 する者の範 囲	当専門学校で の分担研究者	紺野薫事務長 加藤浩子教務主任 只野憲子副主任教員 佐藤仁美副主任教員 門馬みのり副主任教員 林明美副主任教員
	共同研究の場 合、共同研究 機関および各 施設での研究 責任者	多施設共同研究における研究責任者 特定非営利活動法人医療ガバナンス研究所 研究員 樋口朝霞 福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座 教授 坪倉正治
包括同意の 撤回方法に ついて	本研究は包括同意を取らせていただいています。 問い合わせ先にご連絡いただければ対象者のデータを研究に使用し ないようにはできます。ただし、論文や学会での研究発表後は該当す るデータのみを取り除くことはできませんのでご了承願います。	
	問い合わせ先	〒976-0006 福島県相馬市石上南姥沢3 4 4 相馬看護専門学校 担当 紺野薫 電話: 0244-37-8118 FAX: 0244-37-8220 E-mail:s-kango@educaet.plala.or.jp  ※氏名(旧姓)、ご連絡先の電話番号及び Email アド レス、入学年度をお伝えください。